

以上の予想式を使えば、1961年の12月一杯までの資料をつかつて、1962年の梅雨の入りと梅雨の明けの遅速

(日単位)、と8、9月の台風の発生回数と西日本台風影響数とが予想できるわけである。P.R. (percentage reduction) の数の大きさからいうと、梅雨の入りの予想は余り旨く行かないことがわかる。気象庁予報部刊行の“季節予報資料”所載、1961年12月までの北半球月平均500mb面高度値を代入して、1962年の予想をすると、次ぎのようになる。

- 梅雨の入り……不明 (±4.8日)
- 梅雨の明け……15.7日 (±3.8日)
- 8月、9月の台風発生数……6.1箇 (±1.7箇)
- 8月、9月の西日本台風影響数……1.7箇 (±1.1箇)

### 気象の英語 (47)

#### 50. opposite, contrary, reverse など

**opposite** は元来、“向い側の” という意味で、この意味での前置詞としても使われる言葉である。これから“反対の” という意味になった。**contrary** も“反対の” であるが、**opposite** の意味にさらに **conflict** もしくは **antagonism** の概念が加わっていると云われるが、そう本質的な違いではなく、性質について“反対の” と云う意味では **opposite** と **contrary** とはほとんど同じように使われるようだ。

- a contrary concept 反対の概念
- opposite opinions 反対の意見
- contrary statements 反対陳述

しかし位置、方向についての“反対の” という時は元義から想像されるように **opposite** の方がもっぱら使われる。

in the opposite direction = 反対の方向に

**contrary** には“反対の” のほかに“都合の悪い” = **unfavorable** という意味があるから注意を要する。たとえば

- contrary wind = 逆風 (反対の風ではなく)
- contrary weather = 悪天候 (反対の天気ではなく)

**contrary, opposite** の“反対の” という意味は論理学で云う“反対概念”であって、たとえば、大小、黒白のように、中間的なものの存在がゆるされる場合の反対である。大小の間には中があり、黒白の間には有色が考えられる。論理学でいう“矛盾概念”を表わす反対、すなわち有無のように中間的存在をゆるさない場合の“反対の”を表わす言葉は **contradictory** である。

同じく“反対の” という言葉に **reverse, inverse** がある。**reverse** は、“反対方向を向く”とか、“反対方

向に動く”とかいうような意味の“反対の”である。**verse** はラテン語から来たもので **turn** という意味である。したがって **reverse** には“うら側の”“逆の”、**inverse** および **converse** には位置、順序、関係について“逆の”の意味がある。

the reverse side of a coin = 貨幣のうら側 (貨幣に固定されたうら、おもてではなく、見えない方の側という意味)

fill up the form on the reverse = このうらにある用紙に記入せよ。

a reverse gear

the reverse of polite = 上品の反対 (うら返し) = rude

It acts in the reverse sense. = それは逆向にも働らく

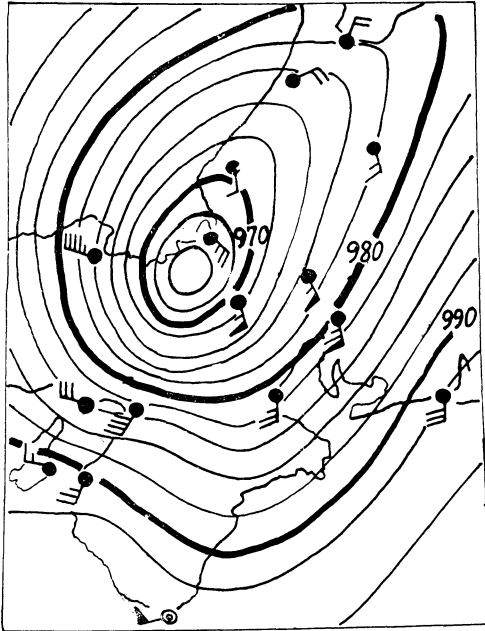
be inversely proportional to = ……に逆 (反) 比例する

今、初めの命題 (proposition) を A として、次に示すような文、B, C, D, E を作る。

- A: All men are mortal.
- B: Not all men are mortal. (contrary)
- C: No men are mortal. (opposite)
- D: All mortal beings are men. (converse)
- E: No immortal beings are men. (contrapositive)

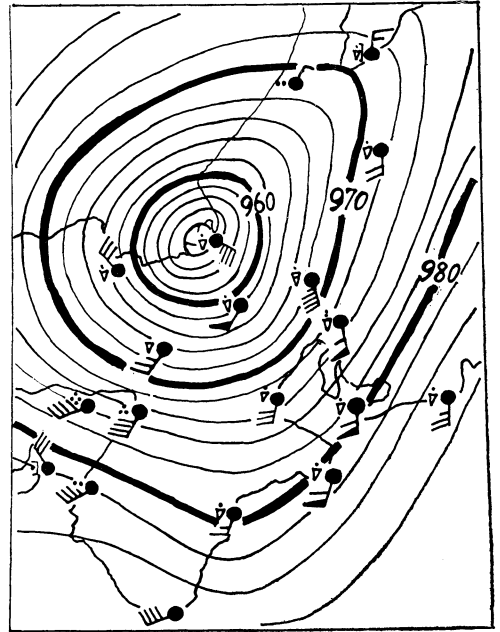
A (すべての人間は死ぬものである) を元の命題とする時、B (すべての人間が死ぬものではない) は **contrary** であり、C (いかなる人間も死ぬものではない) は **opposite**、D (すべての死ぬ生物は人間である) は **converse**、E (すべての死ぬ生物は人間ではない) は **contrapositive** である。

(176頁へつづく)



第2図 室戸台風昭和9年9月21日9時(天気は日本式)

平均風速である。10分間と20分間との間にはどれだけの違いがあるか分らない。しかしある程度の差はあるにちがいない。これからすると4mの差には意味があるのではないか、気圧傾度だけをとるとこのような逆の結果がでたが、他はどうであろうか、次は伊勢湾に風が入り易い場であったかどうかの比較である。伊勢湾の南にひらけた長軸は北々西から南々西にむいているから等圧線が南北に走るときに吹き易い。両方の図を比較すると大した差は見つからない。以上は瞬間天気図を比べての静的にみた結果であるが、動的に、例えば気圧の変化から判断しても、第2室戸台風は室戸台風に比べても衰弱の度合がはるかに小さいように風の弱いという理由はみつからない。このように結果から判断しても第2室戸台風の



第3図 第2室戸台風 昭和36年9月16日15時

際、どうして最大風速が30m以下になったか分らない。最大風速の予想に5mや10mの誤差があってもと、いわれるかも知れないが、このような強風のとき、そのような差があると潮位の予想結果に大きくひびいてくる。マスコミの論調をいちいち気にするわけではないが、世論を反映してか高潮の予報に対してはシビアな精度を求めている。現在の学問及び技術の水準で最善の結果を得る方法があればご指導を仰ぎたいと思い拙文を草した次第である。

参考文献

安井春雄：伊勢湾台風の予報作業について、天気、第7巻第1号。

(173頁よりつづく)

converse (逆), E (死なない生物は人間ではない) は contraposition または antithesis (対偶) である。また, He hit her. を元の文とする時, He did not hit her. は初めの contrary, opposite で, She hit him. はcon-

verse. reverse である。

初めの命題が正しいければ、その対偶も正しいが、  
Converses are not generally (always) true. = 逆  
は必ずしも真ならず。  
である。(有住直介)